科目区分	専門基礎分野	授業科目	臨床検査
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	1年次
目的: 臨床検査の意義や目的を理解し、検査データを解釈する基礎的能力を習得する。 目標: 1 主な臨床検査の概要を理解できる。 2 各種検査の基準値、臨床的意義を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 臨床検査の基本	2	1 臨床検査とその意義 1) 臨床検査とは (1) 臨床検査の種類;検体検査、生体検査 (2) 臨床検査の場面と目的;スクリーニング検査、基本的臨床検査、外来検査、入院検査、精密検査、遺伝子検査 2) 臨床検査結果の評価 (1) 臨床検査結果の解釈、臨床検査値の変動、測定誤差	
2 主な臨床検査	12	1 一般検査 1) 尿検査 2) 糞便検査 3) 体腔内貯留液検査 4) 脳脊髄液検査 5) 関節液検査 2 血液学的検査 1) 末梢血液検査 (1)血球検査 (2)出血・凝固検査 (3)骨髓検査 3 化学検査 1) 血清タンパク質検査 2) 血清酵素検査 3) 糖代謝検査 4) 脂質代謝検査 5) 胆汁排泄関連物質検査 6) 窒素化合物検査 7) 腎機能検査 8) 水・電解質検査 9) 血液ガス分析検査 10) 鉄代謝関連検査 4 免疫・血清学的検査 1) 炎症・感染症関連の検査 2) 自己抗体の検査 3) 腫瘍マーカー 4) 輸血に関する検査 5 内分泌学的検査 1) 各種ホルモン検査 6 病理学的検査 1) 細胞診 2) 病理組織検査 3) 剖検診断 7 生体検査 1) 生理機能検査 (1)心電図	

		(2)呼吸機能検査 (3)脳波 2)画像検査 (1)超音波検査
	1	試験
評価方法		筆記試験
テキスト		医学書院 臨床検査
参考資料		
履修上の 留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。
備考		

科目区分	専門基礎分野	授業科目	薬理学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 効果的で安全な与薬のための基礎的知識として、薬物の意義および薬理作用や影響、薬物の管理法を理解する。</p> <p>目標: 1 薬物療法を安全に行うための薬理学の基礎と薬物の管理法を理解できる。 2 各系統に作用する代表的な薬物の作用機序および作用・副作用について理解できる。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 薬理学の基礎	6	1 薬物療法の概念と定義 2 薬物の人体への影響 1) 投与方法と体内動態 2) 年齢に応じた作用機序 3) 吸収・代謝・排泄 4) 作用と副作用 5) 依存と耐性 6) 薬物相互作用 7) 警告と禁忌 3 薬物の管理法 1) 薬事法 2) 薬物の保存と管理(毒薬、劇薬、麻薬、覚せい剤、輸血、向精神薬)	
2 病因に作用する薬物とその特徴	8	1 抗感染薬 1) 感染症治療に関する基礎事項 2) 抗菌薬 3) 特殊な感染症の治療薬 4) 感染症の治療における問題点 2 抗がん薬 1) がん治療に関する基礎事項 2) 抗がん薬 3 免疫治療薬 1) 免疫反応のしくみ 2) 免疫抑制薬 3) 免疫増強薬 4) 予防接種薬 4 抗アレルギー薬・抗炎症薬 1) 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 2) 炎症と抗炎症薬 3) 関節リウマチ治療薬 4) 痛風治療薬 5 末梢での神経活動に作用する薬物 1) 神経による情報伝達 2) 自律神経系と薬の作用 3) 交感神経作用薬 4) 副交感神経作用薬 5) 筋弛緩薬・局所麻酔薬	
3 各系統に作用する薬物とその特徴	15	1 中枢神経系に作用する薬物 1) 中枢神経系のはたらきと薬物 2) 全身麻酔薬 3) 麻薬性鎮痛薬 4) 非麻薬性合成鎮痛薬 5) 消炎鎮痛薬	

		6) 向精神薬 (1) 催眠薬 (2) 抗不安薬 (3) 抗精神病薬 (4) 抗うつ薬 (5) パーキンソン症候群治療薬 (6) 抗てんかん薬 2 心臓・血管系に作用する薬物 1) 抗高血圧薬 2) 狭心症治療薬 3) うっ血性心不全治療薬 4) 抗不整脈薬 5) 利尿薬 6) 高脂血症治療薬 7) 血液に作用する薬物 3 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 1) 呼吸器系に作用する薬物 2) 消化器系に作用する薬物 3) 生殖器系に作用する薬物 4 血糖降下剤 5 物質代謝に作用する薬物 1) ホルモンおよびホルモン拮抗薬 2) 治療薬としてのビタミン 6 皮膚科用薬・眼科用薬 1) 皮膚に使用する薬物 2) 眼科外用薬 7 救急の際に使用されている薬物 1) 救急蘇生時に用いられる薬物 2) 救急・急変時の症候に対する薬物 3) 急性中毒に対する薬物治療 8 漢方薬 9 消毒薬 1) 消毒薬の種類と応用 10 輸液剤・輸血剤 1) 輸液 (1) 輸液の種類と適応 2) 輸血 (1) 輸血の種類と適応
	1	試験
評価方法		筆記試験
テキスト		メディカ出版 ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学 第7版
参考資料		
履修上の留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。
備考		